



# おくりびとのおつづき

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、あれほど暑かった夏もすっかり影を潜め、蝉の声は聞こえなくなり、代わりに虫の音が聞かれるようになりました。

前々回の寺報の続きになります。たいへん遅くなってすみません。おくりびとの原作となった、富山県の作家『青木新門』さんの書かれた『納棺夫日記』のなかに、青木さんが納棺というお仕事をしながら、たくさんの宗教書を読むようになったこと、そのなかで、宗祖親鸞聖人の『仏は不可思議光如来なり、如来は光なり』というお言葉から、聖人の教えが真実の教えであるとしただけだかたことが書かれています。阿弥陀如来の阿弥陀とは量ることができないという意味があります。つまり、阿弥陀さまは光といのちの限りない仏様という意味なのです。仏説無量寿経（大経）のなかにも如来のおはたらきを十二の光に例えられています。正信偈に

も出てくる、無量光・無辺光・無碍光・無対光・炎王光・清浄光・歓喜光・智慧光・不断光・難思光・無称光・超日月光です。私に必ず至り届いてくださる阿弥陀さまの「必ず救う」という働きが、私たち凡夫にはなかなか気づきません。だからこそ、言葉を尽くして、たくさんの光に例えてくださったのではないのでしょうか。みなさんのお宅のお仏壇にも阿弥陀さまの両脇掛けには『帰命尋十方無碍光如来（十方を照らして何ものにもさえぎられることのない光の如来様に帰命します）』と『南無不可思議光如来（私たち凡夫のはからいを超えた光の如来に南無します）』というお名号がかけられていますね。これはそのまま阿弥陀如来のことを表しています。『智慧の光明はかりなし』とご和讃にもお示しくださっているように、私たちは真実を見定める目を持つていません。真実が見えないことを『無明』といいます。何事も自分中心に考えてしまうのが私たち人間であります。真つ暗で一寸先も見えず、進むべき方向もわからないで生死（迷い）の苦海をさまよっている私たちを照らしてください。進むべき道を明るく照らしてください。智慧の光明に照らされた世界は、仏様の目で見

た真実の世界を表しているのです。私たちは阿弥陀さまのお喚び声を聞かせていただく

き、阿弥陀さまの救いにおまかせいたしますと、いついかなるときにも南無阿弥陀仏（名号）阿弥陀さまのお名前）のお念仏をいただき、間違いなく浄土に往生（おつしやう）（往き生まれること）する身にならせていただき、喜びと共にこの人生を歩ませていただくのです。

## 「報恩講のご案内」

早くも報恩講の時期がまいりました。来月の左の日程で厳修されます。

日	10時〜	14時〜	19時〜
16日 (金)		大速夜 報恩講作法 法話二席	初夜 十二礼 御伝鈔拝読 法話一席
17日 (土)	ご満座 阿弥陀経作法 法話一席		

福井市教応寺住職  
本願寺布教使  
奥田 順誓師です。

報恩講は宗祖・親鸞聖人のご命日を中心にして行われる真宗最大かつ最も大切な仏事です。お念仏に出遇わせていただいた聖人様のご恩に報いる大切な法縁ですので、毎年書いていますが、必ずお参りください。今年も昨年に引き続き、福井市のご門徒の嶋田富美子さんが趣味で作られている人形

展を同時開催いたします。今年は紙人形を中心に展示していただくことになりました。本当にたくさんの作品が嶋田さんの手によって生まれてきています。寺の玄関に飾ってある干支の折り紙細工も嶋田さんの作品ですよ。寺に来られたときにご覧になつてみてください。



嶋田さんと紙人形の作品の数々

### お磨きものお手伝い募集

寺では報恩講をお迎えるために、内陣の輪灯などを下ろして、お磨きものをいたします。今まで坊守を中心に寺族で行ってきましたが、お手伝いいただけるとたいへん有り難く思います。

**期日** 10月1日(木)と2日(金)  
**時間** 午前10時～午後4時

### 場所 西光寺本堂にて

ご都合の良い時間にしばらくでもご参加くださつて結構です。他にも、報恩講の前日の五色幕張りなどの準備や、報恩講当日のお手伝いも熱烈歓迎いたします。みなさんで我がお寺の『ほんこさん』を守り立てましょう。

### なんでもご相談ください

新聞をみると、葬儀社の宣伝に「どんなことでもまずご相談下さい」と書かれています。お寺には相談しにくいんでしょか？みなさんのお寺ですから、なんでもお気軽にご相談ください。悩みでも法要のことでも、お布施についてでも。昨今では自死される方が11年連続で3万人を突破しています。お寺では悩みを解決することはできないかもしれませんが、お聞きすることはできません。また、法座にお参りして仏法を聴き、どうしようもないと思つていた人生が、これで間違ひなかつたと喜んでいただけられるかもしれません。仏法は「これだけ聴いたから、もう十分だ」ということはありません。ただただ聴かせていただくばかりです。  
※布施とは「お経料」のことではありません。詳しくはまた別の機会に。

### 吉崎別院親鸞聖人70回大遠忌法要並記念事業懇志について

前号掲載分以降の懇志の進納状況をお知らせいたします。

※平成21年9月23日現在

一戸あたり一口二千元以上

- 5 □
- 1.5 □
- 1 □

なお、私(若院)がお参りの際に、「もうすんだみたいだから結構です。」と何人かのご門徒さんに嘘を言つてしまいました。誠に申し訳ございません。三月末日まで懇志の受付をしているということなので、引き続き、まだの方はよろしくお願いいたします。

### 編集後記

たぶん6月の法要・永代の経のときだと思ひますが、お念珠の忘れ物がありました。お心当たりの方は寺までご連絡ください。男性用で立派なお顔の彫り物がしてあります。巷ではインフルエンザも流行しております。皆様御身御厭いくださいますよう念じあげます。

